一般社団法人地盤品質判定士会　中部支部　2025年度（令和７年度）総会開催報告
担当：中部支部幹事（広報グループ）

開催日時：令和７年５月23日（金）15時00分～17時00分
開催場所：名古屋大学減災連携研究センター（名古屋市千種区不老町名古屋大学内）
開催形式：現地およびWEB参加によるハイブリッド形式

地盤品質判定士会中部支部は、2025年度(令和７年度)の定期総会を2025年５月23日に、現地およびWEBのハイブリッド形式で開催した。総会は司会者　藤代氏より議長として中部支部顧問の谷口氏が指名され、総出席者39人（現地17人、WEB7人、委任状15人）で審議が進められた。

審議は中部支部 幹事長の桃井氏の報告・提案・説明により「第１～3号議案」が提示され、すべての議案が賛成多数、異議なしを確認し、原案のとおり承認を得た。

その後、話題提供として以下の２篇の講演が実施された。

1、「宅地の地盤相談実績の報告と今後の課題」植田 博文（中部支部幹事）
2、「東海豪雨から２５年」田代　喬（名古屋大学 減災連携研究センター特任教授）

地盤相談の実情や都市型水害の講演であり、地盤品質判定士資格所持者の資質向上の一助となった。詳細については、ホームページの講演資料を参照ください。

また、総会後には、判定士会中部支部と名古屋大学 減災連携研究センター様と今後の連携活動に向けた意見交換会が行われた。

2025年度(令和７年度)の幹事の集合写真(会場参加者)

会場の様子（名古屋大学減災連携研究センター）

総会審議の様子（谷口　議長）

総会審議の様子（桃井　幹事長）

千野支部長の挨拶

司会の様子（藤代　幹事）

話題提供（植田　幹事）

話題提供（減災連携研究センター　田代特任教授）

意見交換会の様子